

経済動向調査レポート

令和6年 第1四半期

(調査対象：令和6年1月～3月)

福崎町商工会

令和6年6月

【目次】

| | |
|-------------------|----|
| I. 経済動向のポイント | 2 |
| II. 兵庫県の経済・雇用情勢 | 3 |
| 1. 概況（全体の状況） | 3 |
| 2. 県内の主要業種の概況 | 7 |
| 3. 地域の概況 | 9 |
| III. 景況調査 | 18 |
| 1. 景況調査について | 18 |
| 2. 概況（全業種） | 19 |
| 3. 業種ごとの集計 | 22 |
| ①製造業（有効調査数：184件） | 21 |
| ②サービス業（有効調査数：77件） | 22 |
| ③不動産業（有効調査数：30件） | 23 |
| ④小売業（有効調査数：66件） | 24 |
| ⑤卸売業（有効調査数：48件） | 25 |
| ⑥建設業（有効調査数：103件） | 26 |

○本レポート作成の目的

地域の経済・消費動向の現状を把握し、その情報を提供することで小規模事業者が経営方針を明確にし、経営分析および事業計画の策定に有効活用できるようにし、小規模事業者の売上や利益の増進に繋がるなど経営基盤の強化につなげることを目的とします。

○本レポートの作成方法

福崎町商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に他の調査や情報とも比較してレポートを作成します。

I. 経済動向のポイント

【1】兵庫県の経済・雇用情勢

- ① 兵庫県の経済・雇用情勢は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。輸出・生産・倒産件数には弱めや悪化の傾向が見られるが、その他の指標（個人消費・設備投資・有効求人倍率・雇用者所得）は回復している。
- ② 県内の主要業種の概況は、一部の業種を除いて景況感が良い。今回は2月と3月の2回調査があり、7業種の傾向を記載している。中でも非鉄金属製造業・輸送用機械製造業・電気機械製造業が好調である。
- ③ 各県民局・県民センターを代表する業種では、景況感はさほど良くない。上記②と同じく2月と3月の2回調査があり、中播磨では4業種の傾向を記載しているが、電気機械器具製造業のみ紙幣刷新に伴う需要増加が見られる。

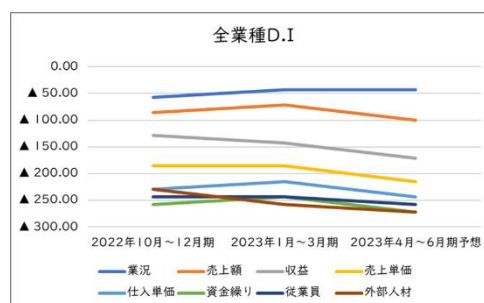
【2】景況調査

① DI（ディフュージョン・インデックス）による分析。

DIとは景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示しており、地域別・業種別の分析指標としている。

② 福崎町商工会の全業種では、2024年1～3月期の横ばい状態で推移している。

当期の業況DIは0ポイントとなり、前期から横ばいとなった。売上単価に関するDIは上昇したが、仕入単価・従業員に関するDIは低下した。2024年4～6月期の予想業況DIは▲14.29ポイントで悪化予想である。売上額・売上単価・仕入単価・従業員に関するDIが低下、その他においては停滞予想である。



③ 姫路地域では小売業と卸売業を除いて、上昇や横ばいである。

但陽信用金庫の取引先全地域の6業種（製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業・不動産業）の調査では、2024年1月～3月期の姫路地域における業況DI実績では、小売業と卸売業を除いて、上昇や横ばいである。また、4月～6月期の姫路地域では、サービス業と建設業を除いて、上昇や横ばいの予想となっている。

【3】中小企業診断士からのコメント

円安によって輸出が好調な業種が見られるが、原材料価格の高騰に苦しむ業種が多く見られる結果となった。多くの業種がコスト削減に取り組んでいるが、思い切った価格転嫁や高付加価値商品・サービスの提供を新たに開始することによって、局面を打開しようとする動きは弱い。一方で、多くの企業がコロナ禍で事業計画を策定されている為、事業計画の中に着手出来ていない項目があれば、この機会に一つずつ着実に実行して頂きたい。

(令和6年5月11日 中小企業診断士 荒木慎吾氏)

II 兵庫県の経済・雇用情勢（「兵庫県の経済・雇用情勢」（令和6年4月17日）から引用）

1. 概況（全体の状況）

| |
|--|
| <p>本県の経済・雇用情勢は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。 景況等…企業の業況判断は、足もと悪化し、先行きは慎重な見方となっている。 需 要…個人消費は、回復に向けた動きが広がっている。 輸 出は、増勢が鈍化している。設備投資は、増加計画にある。 生 産…生産は、弱めの動きがみられる。 雇 用…有効求人倍率は、前月を上回った。雇用者所得は、全体として改善の動きがみられる。 金 融…倒産件数は、前年を上回った。</p> |
|--|

主要指標の推移

①景況

現状（良い－悪い）構成比（%ポイント）

| 区 分 | R5.6月 | R5.9月 | R5.12月 | R6.3月 | R6.6月(予測) |
|--------|-------|-------|--------|-------|-----------|
| 全産業 | 9 | 10 | 18 | 14 | 8 |
| 大企業 | 13 | 21 | 24 | 19 | 14 |
| 中堅企業 | 11 | 15 | 18 | 10 | 6 |
| 中小企業 | 5 | 2 | 15 | 14 | 6 |
| うち製造業 | ▲1 | 6 | 13 | 9 | 6 |
| うち非製造業 | 20 | 15 | 23 | 21 | 11 |

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

②需要

| 項 目 | R3年度 | R4年度 | R5.10月 | R5.11月 | R5.12月 | R6.1月 | R6.2月 |
|-------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|
| 商業販売額：億円 （前年度比増減率%） | 18,016 (+0.3) | 18,529 (+2.8) | 1,577 (+3.1) | 1,573 (+4.6) | 1,887 (+0.4) | 1,537 (+2.1) | 1,453 (+5.7) |
| 乗用車販売台数：台 （前年度比増減率%） | 141,627 (▲7.3) | 144,966 (+2.4) | 13,496 (+16.0) | 13,596 (+8.7) | 12,186 (+4.3) | 12,066 (▲10.1) | 12,803 (▲11.4) |
| 新設住宅着工数：戸 （前年度比増減率%） | 29,844 (▲2.3) | 31,911 (+6.9) | 3,240 (▲1.0) | 2,275 (▲22.4) | 2,312 (▲12.8) | 1,537 (▲44.6) | 2,267 (+8.9) |
| 神戸港輸出額：億円 （前年度比増減率%） | 61,520 (+23.6) | 73,698 (+19.8) | 6,523 (▲2.5) | 6,394 (▲3.7) | 6,890 (▲0.0) | 4,970 (+5.0) | 5,877 (▲1.7) |

（出所）商業動態統計（経済産業省）、新車登録速報（日本自動車販売協会連合会兵庫県支部）、軽自動車新車届出状況（兵庫県軽自動車協会）、住宅着工統計（国土交通省）、神戸港貿易概況（神戸税関）（商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース）

| 項 目 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 （見込） | R6年度 （計画） |
|--------------------------------------|----------------|------------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 設備投資額（前年度比増減率：%） （H27年度比：H27=100） | 2.4 (116.6) | ▲13.4 (101.0) | 8.3 (109.3) | ▲0.4 (108.9) | 14.9 (136.2) |

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

③生産

| 項 目 | R3 年度 | R4 年度 | R5.9 月 | R5.10 月 | R5.11 月 | R5.12 月 | R6.1 月 |
|------------------------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 鉱工業生産指数：H27=100 (前月比増減率%) | 101.4 (+2.7) | 101.8 (+0.4) | 96.5 (+0.2) | 94.8 (▲1.8) | 94.7 (▲0.1) | 99.1 (+4.6) | 92.3 (▲6.9) |

(月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較) (出所) 兵庫県鉱工業指数(県統計課)

④雇用

| 項 目 | R3 年度 | R4 年度 | R5.10 月 | R5.11 月 | R5.12 月 | R6.1 月 | R6.2 月 |
|----------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 有効求人倍率(季節調整値)：倍 | 0.94 | 1.03 | 1.01 | 1.01 | 1.01 | 1.02 | 1.03 |
| 新規求人数(原数値)：人 (前年度比増減率%) | 28,235 (+5.3) | 29,795 (+5.5) | 31,918 (▲1.9) | 26,874 (▲8.6) | 29,099 (+0.9) | 31,315 (▲0.3) | 29,459 (+1.7) |
| 雇用者所得計：円 (前年度比増減率%) | 5,340 (▲1.4) | 5,510 (+3.2) | 4,810 (+2.7) | 5,131 (▲2.9) | 10,114 (+8.5) | 4,914 (+3.6) | - (-) |

(有効求人倍率の年度値は原数値、現金給与総額の年度値は年平均) (出所) 一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

⑤金融

| 項 目 | R4 年度 | R5 年度 | R5.11 月 | R5.12 月 | R6.1 月 | R6.2 月 | R6.3 月 |
|---------------------------|-----------------|-------------------|----------------|---------------|----------------|---------------|---------------|
| 企業倒産件数：件 (前年度比増減率%) | 368 (▲11.9) | 568 (+54.4) | 61 (+110.3) | 49 (+48.5) | 51 (+45.7) | 46 (+43.8) | 60 (+25.0) |
| 企業倒産負債総額：億円 (前年度比増減率%) | 649 (+120.5) | 6,808 (+948.6) | 49 (▲40.7) | 29 (+14.5) | 37 (+213.7) | 34 (+75.3) | 29 (▲31.1) |

(出所) 兵庫県企業倒産状況(東京商工サーチ神戸支店)

(参考1)全国景気の現状についての内閣府のコメント

景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。

- ・個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。
- ・輸出は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・生産は、持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している。
- ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

(令和6年3月22日 内閣府「月例経済報告」)

(参考2)県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント

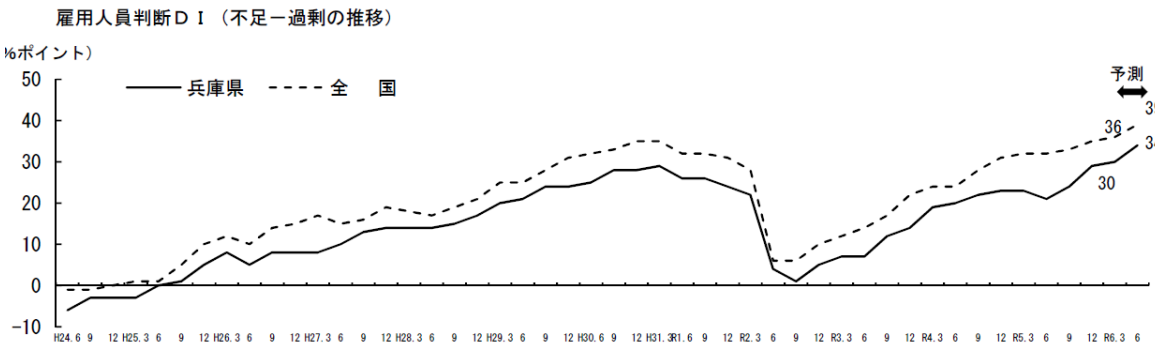
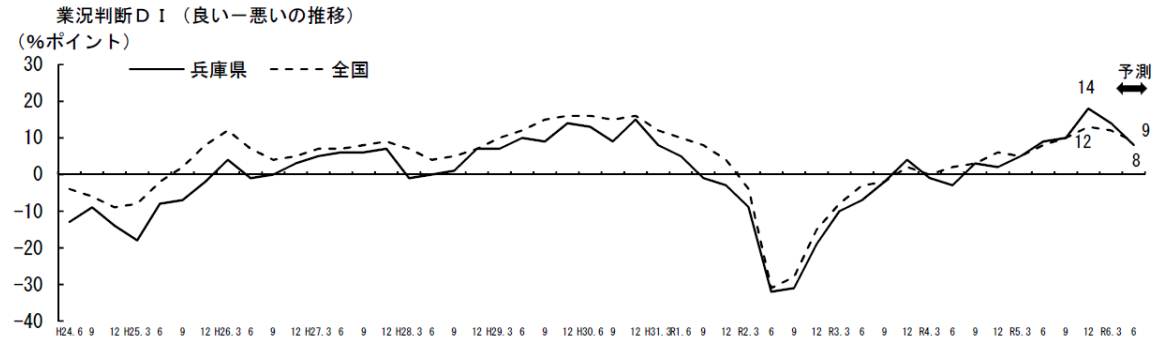
管内の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。設備投資は、増加している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。輸出は、増勢が鈍化している。

こうした中、生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい圏内で推移している。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回って推移している。

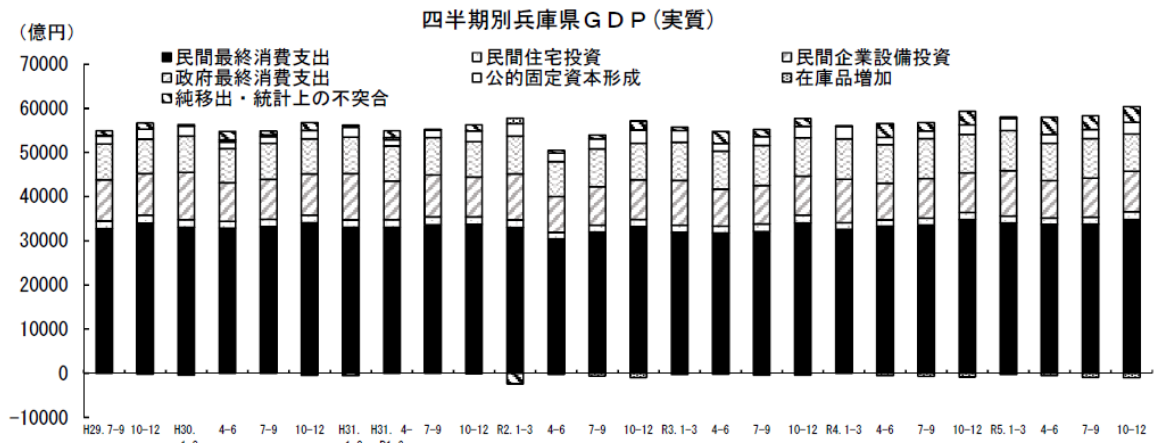
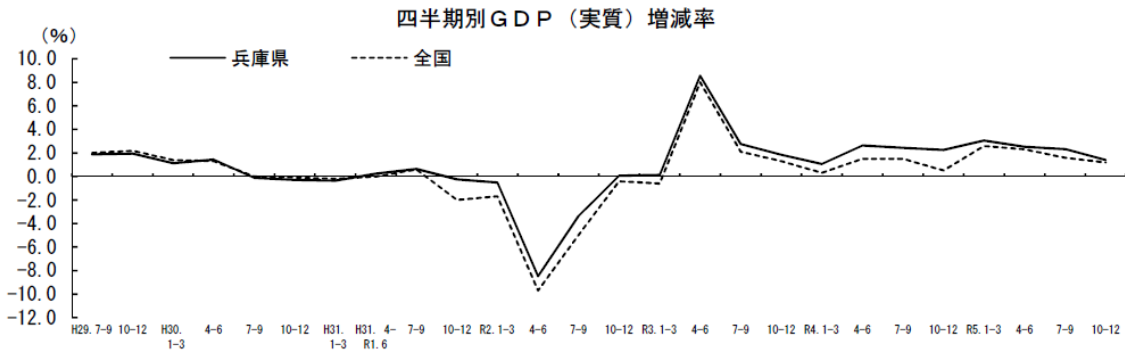
(令和6年4月12日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

日本銀行神戸支店県内企業短期経済観測調査結果の推移



出所：令和6年3月全国・県内企業短期経済観測調査(日本銀行、同神戸支店)

GDP → 実質GDP(R5.10~12月期)は、地方政府等最終消費支出及び在庫変動が引き続きマイナスで推移したものの、民間企業設備投資がプラスに転じ、民間最終消費支出、民間住宅投資、公的固定資本形成及び純移出等が引き続きプラスで推移し、対前年同期比は1.4%とプラスとなった。



出所：四半期別GDP速報(内閣府)、四半期別県内GDP速報(県統計課)

兵庫県・四半期別GDP(実質)(億円、増減率%)

| | 30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| GDP(実質) | 221,536 | 221,677 | 215,326 | 222,666 | 228,394 |
| 前年度比 | 0.1 | 0.1 | ▲2.9 | 3.4 | 2.6 |

| | R3.10-12 | R4.1-3 | R4.4-6 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 | R5.4-6 | R5.7-9 | R5.10-12 |
|---------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|
| GDP(実質) | 57,240 | 56,024 | 55,991 | 56,132 | 58,537 | 57,734 | 57,406 | 57,432 | 59,358 |
| 前年度比 | 1.8 | 1.1 | 2.6 | 2.4 | 2.3 | 3.1 | 2.5 | 2.3 | 1.4 |

兵庫県・四半期別GDP(名目)(億円、増減率%)

| | 30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| GDP(名目) | 221,552 | 222,604 | 218,435 | 225,063 | 228,753 |
| 前年度比 | 0.1 | 0.5 | ▲1.9 | 3.0 | 1.6 |

| | R3.10-12 | R4.1-3 | R4.4-6 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 | R5.4-6 | R5.7-9 | R5.10-12 |
|---------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|
| GDP(名目) | 58,170 | 56,090 | 56,145 | 55,449 | 59,242 | 57,917 | 59,072 | 59,075 | 62,427 |
| 前年度比 | 1.3 | 0.7 | 0.8 | 0.7 | 1.8 | 3.3 | 5.2 | 6.5 | 5.4 |

注1) 今後公表される年度確報値とのあいだに若干の差異が生じる場合がある。

また、推計精度をより高めるため、各計数は過去にさかのぼって変更されることがある。

前年度比は原数値の増減を示す。

注2) 数値は、平成27年基準値となっている。

注3) 令和3年度までの年度数値は「県民経済計算」(県統計課) 令和4年度の年度数値は「四半期別GDP」(県統計課)

2. 県内の主要業種の概況

【令和6年2月調査】

| 業種 | 概況 |
|----------|---|
| 非鉄金属製造業 | 引き続き、景況感は良い。3ヶ月後も同様。コロナ禍で激減した航空機需要が、回復から成長軌道に乗っている。また、世界的なサプライチェーン再編の影響が継続し、需給の逼迫度が高まっていることから、工場もフル稼働しており、売上高前年度比は約3割増。 一方で、高機能材料は、半導体市場が依然として生産調整局面にあり、関連製品の需要停滞から、売上高前年度比は約2割減。 円安は原材料高、エネルギー高になるものの、大幅な輸出増によりプラスに影響している。 |
| 輸送用機械製造業 | 景況感が良い傾向。第2四半期からの動きが継続しており、今後も良い傾向が続くのではないかと見られる。環境プラント事業、エネルギー製品等が好調である。 第3四半期の売上・利益は前年同時期と比較すると増加している一方、受注高は前年同時期と比較すると減少。昨年度受注が好調であった反動で、水準としては高い。受注の状況は、良い状況が継続する |

| | |
|----------------------------|--|
| | <p>ろう。現状、海外よりも国内が好調である。</p> <p>原油・原材料価格の高騰による影響は緩和されているものの、収益に影響が出ている。引き続きリスクと考えており、今後の動向を注視していく。</p> <p>事業拡大により総合職・生産職ともに雇用人員の不足が見込まれる。求人募集は実施しており、一定の応募はあるものの、不足感は続いている。</p> |
| そ 製 の 造 他 業 | <p>引き続き、景況感はさほど良くない。コロナ禍や電子部品の供給不足による納期遅延の発生を教訓として、販売店が在庫確保に動いたため、新規発注が減っている。</p> <p>売上高は、価格改定効果で収益率は改善するものの、需要低迷で計画には届かなかった。</p> <p>設備投資は、海外に研究開発施設を建設し、海外市場での生産能力拡大を図る。また、コストダウンのため、スマートファクトリーの実現（自動化・効率化）を強化していく。</p> <p>世帯数の減少など環境が変化する中、社会課題を解決するための付加価値を付けた製品を市場に提案している。</p> |

【令和6年3月調査】

| 業種 | 概況 |
|--------------------------------------|---|
| 化 学 工 業 | <p>昨年同時期と比較すると良くなっているが、景況感は良くも悪くもない。世界情勢が不透明な部分もあり、3ヶ月後の景況感も良くも悪くもないだろう。</p> <p>第4四半期の売上、利益は共に増加の見通し。価格転嫁が進んだことや、高付加価値の商品の売上が好調な影響により、利益の増加に繋がっている。</p> <p>原材料価格高騰も落ち着いてきており、経営への影響も特になくなってきている。</p> |
| は ん 用 機 械 業 製 造 | <p>取引の大きな割合を占める中国の市場が依然として低調で、足もとの景況感は良くない。3ヶ月後も同様と考えるが、来年度あたりが底と見込んでいる。</p> <p>売上は前期に比べて微増。在庫が少しずつ動き出し、補充の発注も出てきた。利益も微増。昨年初めに上がった原材料価格が今は落ち着いていることや、コストダウン活動による効果がじわじわと現れている。</p> <p>設備投資は経営環境が厳しかったこともあり、当初計画から減少。雇用人員は適正。賃金のベースアップを実施。</p> |
| そ 製 の 造 他 業 | <p>景況感は良い。また3ヶ月後も景況感は良いだろう。国内はインバウンドが好調で、海外でも商品の売上が好調。売上、利益共に前期、前年同時期と比較して増加の見込みである。</p> |

| | |
|------------------|---|
| | <p>最近の消費動向として、客数、客単価共に増加している。新型コロナも落ち着き、直接店舗で商品を見て購入したいと考えた顧客が増えたと考えられる。</p> <p>今春EC 販売上でAI を活用した機能を導入予定。EC 販売での注力商品を差別化することで、売上も伸びた。</p> <p>原材料価格の高騰は依然としてマイナスの影響があるものの、調達状況に大きな変化はない。</p> |
| 電 気 機 械 製 造 業 | <p>受注、売上共に増加しており、景況感が良い。今後も今の流れが続く、景況感が良いだろう。第4四半期の売上、利益は前期、前年同期と比較して増加の見込み。大型案件の受注が増加し、売上、利益の増加に繋がった。</p> <p>燃料、金属材料の価格が高騰しており、売上、利益にマイナスの影響を与えているものの、金属材料の価格は高止まり傾向にある。価格転嫁は一部実施しているものの、価格高騰に追いついていない状況。</p> <p>半導体不足の影響はかなり落ち着いてきており、解消傾向にある。ほぼ通常納期に戻っている。</p> |
| 宿 泊 業 | <p>インバウンドの増加で、個人宿泊客は、概ねコロナ禍前に回復してきたものの、中国の動きが鈍く、団体客が大阪や京都から地方に流れてこないため、全体の稼働率はコロナ禍前まで戻っていない。</p> <p>ホテル業界はラグジュアリーホテルと宿泊特化型ホテルに2極化する流れが進み、中間層を対象としたホテルは苦戦。訪日客の増加に加え、大阪・関西万博の開催、神戸空港国際化を見据え、一部、富裕層向けに客室をリニューアルした。</p> <p>大阪、京都のホテル建設ラッシュで関西からの採用が難しくなっている。</p> |

兵庫県産業労働部調査

3. 地域の概況

【令和6年2月調査】

| 地域 | 業種 | 概況 |
|----|------------------|--|
| 神戸 | 道 路 旅 客 運 送 業 | <p>1台あたりの売上は、コロナ禍前の水準まで戻っている。ドライバーが減っているため各社とも減車しており、全体の売上としては減少している。</p> <p>今後、ライドシェアが事業として伸びてくるだろう。高級志向のハイヤー事業は生き残るだろうが、タクシーの需要は下がり、将来的にはなくなるのではないかとされている。</p> |
| | ゴ ム 製 品 製 造 業 | <p>年明け早々に起きた能登半島地震、飛行機事故の影響だと推測するが、消費者が買い控え傾向に走り、福袋の売れ行きが悪かった。備蓄できる日用品は買って、服飾などの贅沢品は控えるこの傾向はしばらく続くだろう。</p> |

| | | |
|------------|---------------------------|--|
| 神戸 (続き) | | <p>中小企業も海外への輸出を真剣に検討すべき時期に 来ているが、海外の展示会に参加した東京の事業者も 苦戦していると聞いている。</p> |
| 阪神南 | 食料品 製 造 業 | <p>植物油脂など原料のほとんどが海外産のため、円安 や世界情勢の影響により300%近く価格が上昇し、収益 は5割程度下降、景況感はさほど良くない。大手企業で は値上げにより順調に売上を伸ばしているが、中小企 業にとっては価格競争が激化し、とても厳しい状況。 配合の見直しや、外部委託からの内製化、PB商品の 開発などに取り組んでいる。</p> <p>半導体不足により機械の導入は通常より時間がかか るが、新製品開発や業務効率化を目指し、新規設備投 資も検討している。</p> |
| | 金属製品製造業 | <p>業界全般では、昨年10月から12月にかけて受注、売 上、利益ともに対前年を下回る傾向となっており、景 況感はさほど良くない。半導体の供給不足や国際的な 紛争の影響による自動車・家電・建設関連産業の減 産・停滞、原材料価格の高騰など諸問題の継続に加 え、価格転嫁も思うように推移していないことが大き な要因であり、回復には四半期程度かかる見込み。</p> <p>また、人員が不足しており、特に営業職の応募が皆 無のため営業職の増強が課題である。</p> |
| 阪神北 | 生 産 用 機 械 器 具 製 造 業 | <p>1～3月期は、前期と比較して利益が大幅に減少す るなど景況感としてはさほど良くない状況である。依 然としてコロナ禍において積み増しされた在庫が残っ ているようである。また、特に中国向けの機器販売が 低迷しており、中国経済減速の影響を受けているとと もに、今後も不透明感が漂っている。原材料価格が高 止まっているなか、最近は梱包資材価格も上昇してき ており収益悪化の要因となっている。</p> |
| | 食料品 製 造 業 | <p>食品の値上げ等による消費減少の中、原材料価格その もの高騰と相まって円安の 影響を大きく受けている。価格転嫁により利益は確 保しているが、景況感としてはさ ほど良くない状況である。原料のコストアップは今 後も見込まれることから、不透明 な状況が続くと思われる。 引き続き経費削減等の徹底に努めていく。</p> |
| 東播磨 | 不 動 産 取 引 業 | <p>原材料価格の高騰による影響は、販売価格や住宅工 事費の値上げをすることで対処しているが、購入を様 子見されており、景況感はさほど良くない。 原材料価格の高騰分は、販売価格等の値上げをする</p> |

| | | |
|-------------|--------------------------------|--|
| 東播磨 (続き) | | <p>ことで吸収しているが、円安による資材価格の値上げについては、これからではないかと思料している。</p> <p>雇用人員については、売上増強や一部欠員補充のため、不足している部門の人員を募集しており、一定数の応募はある。</p> |
| | 金融業 | <p>取引先企業の景況感は、物価高騰の影響や人手不足の影響を受けて、どの業種もさほど良くない。人手不足の対策として、前年度よりも設備投資を行う企業が増えており、そのための融資も増加している。</p> <p>消費者向け融資については、第4四半期は、大学の入学金等で教育ローンの需要が旺盛になるため、増加する見込みである。</p> <p>原材料価格の高騰については、業種によって価格転嫁の状況に偏りがあり、加えて多くの業種が人手不足に苦慮している状況である。</p> |
| 北播磨 | 化学工業 | <p>景況感はさほど良くない。</p> <p>自動車の保有台数もピークアウトが予想される中、車検の実施件数は比較的堅調で、メンテナンス関連用品の売上が好調である。一方、海外調達原料の滞りや原油価格の高騰による影響を受け総合的に収益は大きな変化がない。</p> <p>今後、人口動態の観点から自動車の保有台数の減少は不可避であり、将来の市場減少を見越した事業の多角化に取り組んでいる。</p> <p>採用関係については、一定の応募があるものの、雇用人員については不足している。</p> |
| | 業務器具業 業 機 械 製 造 | <p>景況感はさほど良くない。</p> <p>原材料の高騰により、海外からの資源として鉄やアルミなどが大きく影響を受け、利益などが減少している。</p> <p>また、雇用面では工場所在地近隣の工業高校生の採用確保が以前に比べ困難になってきており、受注減少などの影響から人員が不足する部署と過剰な部署と極端な状況になっている。</p> |
| 中播磨 | 電気機械器具業 製 造 | <p>半導体不足が改善してきたことや、紙幣刷新に伴う機械更新などの需要拡大、海外市場での売上が好調であることなどから、景況感としては良い状況が続いている。</p> <p>今後も暫く良い状況が続くと考えており、新たな金型の導入などの設備投資も進めていく。</p> <p>原材料費高騰に伴う価格転嫁については、国内市場では一定程度進んでいるが、海外市場では長期契約が多いことから現時点ではあまり進んでいない。</p> <p>雇用面では、新卒はほぼ計画通り採用できているが、IT関連の技術者については不足が続いている。</p> |

| | | |
|-------------|----------------------|--|
| 中播磨 (続き) | 産 業 用 具 業 機 械 器 造 | <p>景況感としては、さほど良くない。半導体不足については改善してきているが、取引先の在庫調整などが続いており、売上、利益ともに減少している。改善時期は不透明であり、3ヶ月後も悪い状況が続くと見ている。</p> <p>直近の円安については、売上の大半が国内市場であるためメリットはあまりなく、原材料費の高騰のデメリットが大きい。価格転嫁を進めているが、人件費高騰にかかる部分は転嫁しにくいいため、経営を圧迫している。</p> <p>雇用面では、新卒採用については、ほぼ計画どおりではあるが、技術系人材の採用は厳しい状況が続いている。</p> |
| 西播磨 | は 人 用 具 業 機 械 器 造 | <p>景況感はさほど良くない状況であり、今後も目立った変化は無いと推測している。</p> <p>自動車産業関連の受注については好調な一方で、住宅着工件数が緩やかに減少していることから、住宅関連機器の売上を大きく伸ばすことは難しいと予想している。加えて、原材料の高騰や資材調達期間の長期化が続いていることが、先行きの不透明感に影響を及ぼしている。</p> <p>雇用人員の確保が難しくなっており、女性が働きやすい環境の整備やDXの推進が重要と考えている。</p> |
| | 金 融 業 | <p>当金融機関、管内中小企業共に景況感はさほど良くなく、3か月後の景況感についても同様と予測している。サービス業等においては景況感が改善したが、全体として見れば原材料価格の高騰や資金繰り・人材確保等に懸念を感じている企業も多く、先行きは不透明と判断している。融資については、事業者向けでは総件数が減ったが、個別に見ると金額の大きい案件が増えた。消費者向けでは、マイカー・住宅ローン等が減少し、件数・融資額ともに減少した。</p> |
| 但馬 | 銀 行 業 | <p>取引先及び管内企業の当月景況感はさほど良くない。3ヶ月後も同様である。地場産業（靴業界）は管内への観光客数回復に伴い、売上好調と見られる。業種全体で人材不足であり、一部業種では積極的に海外人材登用も検討している。</p> <p>自行の賃金改定については、R6年4月入行職員の給料引上げを予定している。</p> <p>管内企業の原材料価格高騰に伴う価格転嫁は概ね実施済み。管内企業の設備投資は堅調に推移。実績は前年度並み。運転資金に大きな動きはみられない。</p> |
| | 金 属 製 品 業 製 造 | <p>前四半期と比べ、取引先の製品増強に伴い、自社製品への受注・需要が高まり売上高、利益ともに増加したことから、当月及び3ヶ月後の景況感は良いと見込</p> |

| | | |
|------------|-------------------|---|
| 但馬 (続き) | | <p>む。</p> <p>雇用形態改革として、選択定年制（60～65 歳）制度をR5 年度から実施。対象者の9割強が65 歳までの定年延長を希望している。中途採用は人材紹介サイトなどを活用し随時募集しており、年間で30 名以上採用している。来年度は近隣高専卒業生からの採用を見込めるよう採用のあり方を検討する。</p> |
| 丹波 | 金融業 | <p>景況感はさほど良くない。事業者向け融資は、伴走型支援特別融資制度の活用などがみられるものの、全体として減少している。個人向け融資でも、顧客の高齢化によるリピーターの減少がみられる。</p> <p>取引先では、事業再構築補助金を活用した設備投資の動きもあるが、一方で仕入れ価格の高騰を販売価格に転嫁できないでいる事業者は、利益確保が課題となっている。</p> <p>また、人材面では、特に運送業、建設業の人手不足が顕著である。</p> |
| | 電子部品・デバイス・電子回路製造業 | <p>景況感はさほど良くない。材料となる金属価格の高騰や最低賃金引き上げに伴う海外実習生等の給与水準の見直しなどにより、収益が圧迫されている。</p> <p>人材が不足しているが、募集をかけても応募がなく、海外実習生で補っている状況。</p> <p>また、半導体不足により生産に影響が生じ、先行手配をした部品の在庫が積み上がっている状態である。</p> |
| 淡路 | サービス業 | <p>昨年度同期比では回復しているが、コロナ禍前と比較すると9割程度の回復であり、景況感はさほど良くない。以前多かった団体客については、旅行スタイルが個人・グループ旅行へ変化するとともに、バスの運転手不足や食事施設の減少等により、今後もコロナ禍前には戻らない予測である。原油・原材料価格の高騰による影響から、原材料の調達がかなり困難となっており、商品内容の見直しや、包装材料の工夫などを行い対応している。雇用については、求人情報サイトの活用などによる募集を行っているものの、人材確保に苦慮している。</p> |
| | 食料品業 | <p>コロナ禍前との客層変化に伴う消費動向変化のほか、輸入品の運送費や原材料価格の高騰が業況等へマイナスの影響を与えており、景況感はさほど良くない。個人客や若年層など新たな客層への対応が今後必要になってきていると感じる。</p> <p>既存設備について更新をしたいが、部品が入ってこないなどの影響が続いており、見通しを立てて早めに発注するなどの対応を行っている。また、業務改善・構造改善の取組については、集中的な製造による時間コスト削減などに取り組んでいる。</p> |

| 地域 | 業種 | 概況 |
|-----|--------------|--|
| 神戸 | 食料品製造業 | <p>国内売上高・輸出ともに昨年より売上を落としているが、特に輸出に関しては、物流が滞っていた2022年に取引先が在庫を増やしていた反動も一因となっているので、平均化するとそこまで悪い状況ではない。</p> <p>昨年10月に酒税減税が実施されたが、原材料・エネルギー高騰の状況下、値下げはできていない。価格据え置きか一部値上げが限度である。普通酒の売れ行きは厳しいが、インバウンドや飲食店向けの高級酒は回復傾向にある。数量ベースでは減少しているが、金額ベースでは一定の売上があり、先行きは良くも悪くもないと言える。</p> |
| | 食料品製造業 | <p>コロナ禍での巣ごもり需要が終了し、個人経営の店は経営が悪化している。大手もリストラや店舗閉鎖、保有株式の売却などで食いつないているが、どこも厳しい状況である。</p> <p>使用する材料は輸入品が多く、円安、原材料価格の高騰の影響を大きく受けている。</p> <p>働き方改革がもたらすコストの増加、2025年問題からくる後継者不足、大廃業時代の到来など、今後の見通しもあまり明るいものではない。</p> |
| 阪神南 | 飲料・たばこ・飼料製造業 | <p>景況感はさほど良くない。年末年始の業務用は回復したもののコロナ禍前には戻っておらず、業界では以前の状態には戻らないという考えが主流である。清酒の国内での売上増加は依然厳しく先細りの業界である。海外向け輸出も、数量前年比81.3%と3年ぶりにマイナスとなり、金額では同86.5%と14年ぶりのマイナスで、ともに2ケタの減少となった。</p> <p>現状は資材等の高騰はないが、紙料はじめ紙パック・段ボールの値上げに加えて、人件費高騰も懸念材料である。</p> |
| | はん用機械器具業 | <p>現状の景況感は良いが、今後はさほど良くない。前年や前期と比べて売上高や利益が増加している部分はあるが、足元の為替や原材料価格高騰の影響は大きい。価格転嫁は交渉済みではあるが、入手困難な原材料があり、代替材料の利用や複数発注などにより対応していても、出荷に著しい悪影響がある。</p> <p>R5年度に入り雇用人員が不足しており、製造、生産管理、技術の部門で引き続き求人募集をしている。一定の応募はあるが適正な人員配置には至っていない。</p> |

| | | |
|-----|----------------------|---|
| 阪神北 | 金 属 製 品 製 造 業 | <p>コロナ禍において、サプライチェーンや物流機能が混迷したことや、発注元が在庫を積み増した反動により、受注が大幅に低下し、売上も大きく減少していた。</p> <p>しかしながら、第4四半期になり、受注に回復の兆しが見え始め、サプライチェーンにおける過剰在庫も適正水準に向かいつつあるように感じられる。</p> |
| 東播磨 | 化 学 工 業 | <p>半導体メモリの需要が回復していないため、数量が出ておらず、売上高にマイナスの影響が出ている。加えて、固定経費の上昇により、利益にもマイナスの影響が出ており、景況感はさほど良くない。</p> <p>雇用については、製造部門と技術部門の人員が不足している。求人募集に対して一定の応募があり、採用はできているが、まだ不足している状況である。</p> |
| | 鉄 鋼 業 | <p>半導体不足の影響緩和などにより自動車関連は比較的堅調であるが、それ以外の分野では全体的に数量が出ておらず、景況感はさほど良くない。原料の大部分を輸入しているため、円安の影響を受けやすく、マイナスの影響が大きい。</p> <p>雇用については、製造部門の人員が不足しており、現在求人募集を行っているが、人材確保に苦慮している。</p> |
| 北播磨 | 織 維 製 品 製 造 販 売 業 | <p>景況感はさほど良くない。</p> <p>行動制限が緩和され、人の動きが出てきたことから、回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準には戻り切らない予測である。</p> <p>原材料は海外調達が主であり2倍近くの値上がりとなるものもある。光熱費の高騰も大きな負担で特に電気料金が大幅に値上げとなっている。海外での展示会は数カ所まで再開しており、求人はアパレル分野への就職需要は一定の見込みがあり、必要人数を確保できている。</p> |
| | 電 機 機 械 器 具 製 造 業 | <p>景況感はさほど良くない。半導体不足の影響は以前ほどではないが、コロナ禍で余った商品のストックへの対応が難しい状況である。設備の投資計画も大きな計画はなく、更新事業のみの対応である。</p> <p>人材の確保面については一定の応募はあったが、十分に確保できているとは言えない。</p> <p>また、地域に十分な住居数が無く、遠方からの就職者を確保したくても受入体制が整わず、役所へ要望している。</p> |
| 中播磨 | 総 合 工 事 業 | <p>売上については、景気動向よりも入札状況に左右されるため変動幅が大きいですが、直近の景況感としてはさ</p> |

| | | |
|-------------|--------|---|
| 中播磨 (続き) | | <p>ほど良くない。原材料価格は生コンを中心に高騰しており、下請け企業の人件費高騰などの影響も受けている。</p> <p>雇用については現場職員を中心に不足しており、新卒採用についても計画通り採用できていない。中途採用についても、技術者については殆ど見つからないため苦慮している。今後の残業規制の強化により、人件費が高騰する懸念があり、働き方改革や業務の効率化の必要性を感じている。</p> |
| | 化学工業 | <p>エネルギーや原材料価格については、昨年度より徐々に下がってきてはいるが、中国経済停滞の影響等により先行きが不透明なこともあり、景況感としてはさほど良くないと感じている。</p> <p>原材料については、これまで製造していた国内メーカーが、設備の老朽化に伴い生産縮小する事例が出てきていることから、海外調達に切り替えるなどの対応を強いられており、コスト増の影響が出ている。</p> <p>人員面について、新卒採用は高卒・大卒とも計画通り充足しているが、交代勤務のオペレーターなどを中心に応募は減少している。</p> |
| 西播磨 | 各種小売商品 | <p>景況はさほど良くなく、3か月後も同様と予測している。商品の仕入単価は高止まりの状況で、単価増により売上高は増加しているものの、大きな利益には結びついていない。消費動向としては、客単価は増加しているが客数は変化がない。比較的、単価が安い商品が売れている。電気料金に係る契約変更により、今後電気代が大きく増える見込みであり、より効率的に事業を行うための検討を重ねている。</p> |
| | 総合工事業 | <p>景況はさほど良くなく、3か月後も同様と予測している。リフォーム契約については順調に推移しているが、新築契約については減少している。住宅を取得しようとする世代の減少や資材高騰によって建築経費が増加していること等が要因ではないかと分析している。新築契約が減少するなか、分譲住宅の販売等にも力を入れることとしている。</p> |
| 但馬 | 建設業 | <p>景況感さはほど良くない。1～3月期の売上高は、前年同期比で10%減少の見込み。設備投資計画は現場で用いる建設機械の入替を予定している。原材料価格の高騰に伴う価格転嫁時期は不明。</p> <p>雇用では、新卒者、中途採用者ともに募集しているが応募はほとんどない。技術職部門が著しく不足している。県内出身者の採用に苦戦しており、県が積極的に企業説明会等を開催する等支援してもらいたい。</p> |
| | 宿泊業 | <p>景況感さはほど良くない。コロナ禍以前の数値まで回復していないが、宿泊者は国内個人旅行客が主で、</p> |

| | | |
|------------|--------------|--|
| 但馬 (続き) | | <p>海外客は日帰り利用が多い。地域全体の消費需要は回復半ばであり、切れ目のない観光支援を実施してほしい。</p> <p>雇用については今年度3～5名の採用を予定する。調理部門が不足の状況にある。ハローワーク等での募集や、地域外での採用説明会を実施している。働き方改革として全館休館日を継続実施しているが、休館日増加も検討したい。</p> |
| 丹波 | 観光サービス業 | <p>景況感はさほど良くない。昨年同時期と比較し、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行への影響から観光客が増加している。しかしながら、原材料費等の高騰により、各種商品の値上げを実施しているものの、利益は横ばいの状況である。また、将来を見据え、若い人材を雇用したいと考えているが、昨今の人件費の上昇により、捻出が困難である。</p> |
| | 飲料・たばこ・飼料製造業 | <p>全体として、景況感の良い状況である。売上はコロナ禍前から堅調な状況が続いているが、中国をはじめとするアジア圏内で買い控えの動きがあり、輸出が減少している。また、包材価格が値上がりしているほか、廃業等に伴う瓶の調達難がみられる。</p> <p>働き方改革に取り組んでおり、前月の残業がないなど一定の条件を満たした場合、年次休暇とは別に早退できる制度を設けている。来年の大阪万博の開催等に向け、販路拡大等検討している。</p> |
| 淡路 | 宿泊業 | <p>人気食材の安定した入荷等により、昨年度同期から売上・利益とも増加し、春休み期間中は満室状態ということもあり、景況感の良い。しかし、今春に近隣に同業施設が開業するため、影響について危惧しており、今後の見通しとしてはさほど良くない。</p> <p>雇用については、慢性的な人員不足が続いているが、勤務体制の柔軟な変更などES(従業員満足度)を高め、離職率を減らす取組や、島外や他県などの学生にターゲットを広げるなど、人材確保に取り組んでいる。</p> |
| | 建設業 | <p>売上については、前年同期比、前期比ではほぼ変化はないが、公共工事が減少してきており、景況感はさほど良くない。ウクライナ情勢の影響等により、材料や重機の調達が困難な状況が業界全体で常態化しており、1年先を見越して発注するなどの対応を行っている。働き方改革の推進に向けた取組では、ノー残業デーの導入を検討している。</p> <p>雇用については、特に技術職について深刻な人材不足が続いており、中途採用も含め人材確保に取り組んでいるが、厳しい状況が続いている。</p> |

Ⅲ. 景況調査

Ⅰ. 景況調査について

○『D.I (ディフュージョン・インデックス)』による分析

D.I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、「良い」20%－「悪い」30%＝－10%となり、D.I. 値は－10ポイントと示すことができます。

| 業況 | 件数 | 構成比 |
|----|------|------|
| 良い | 10 件 | 20% |
| 不変 | 25 件 | 50% |
| 悪い | 15 件 | 30% |
| 合計 | 50 件 | 100% |

○引用する調査書と有効回答数について

本レポートの作成にあたり、但陽信用金庫が四半期毎に実施する「景気動向調査」の調査結果を引用しています。

(対象期間内における有効回答数)

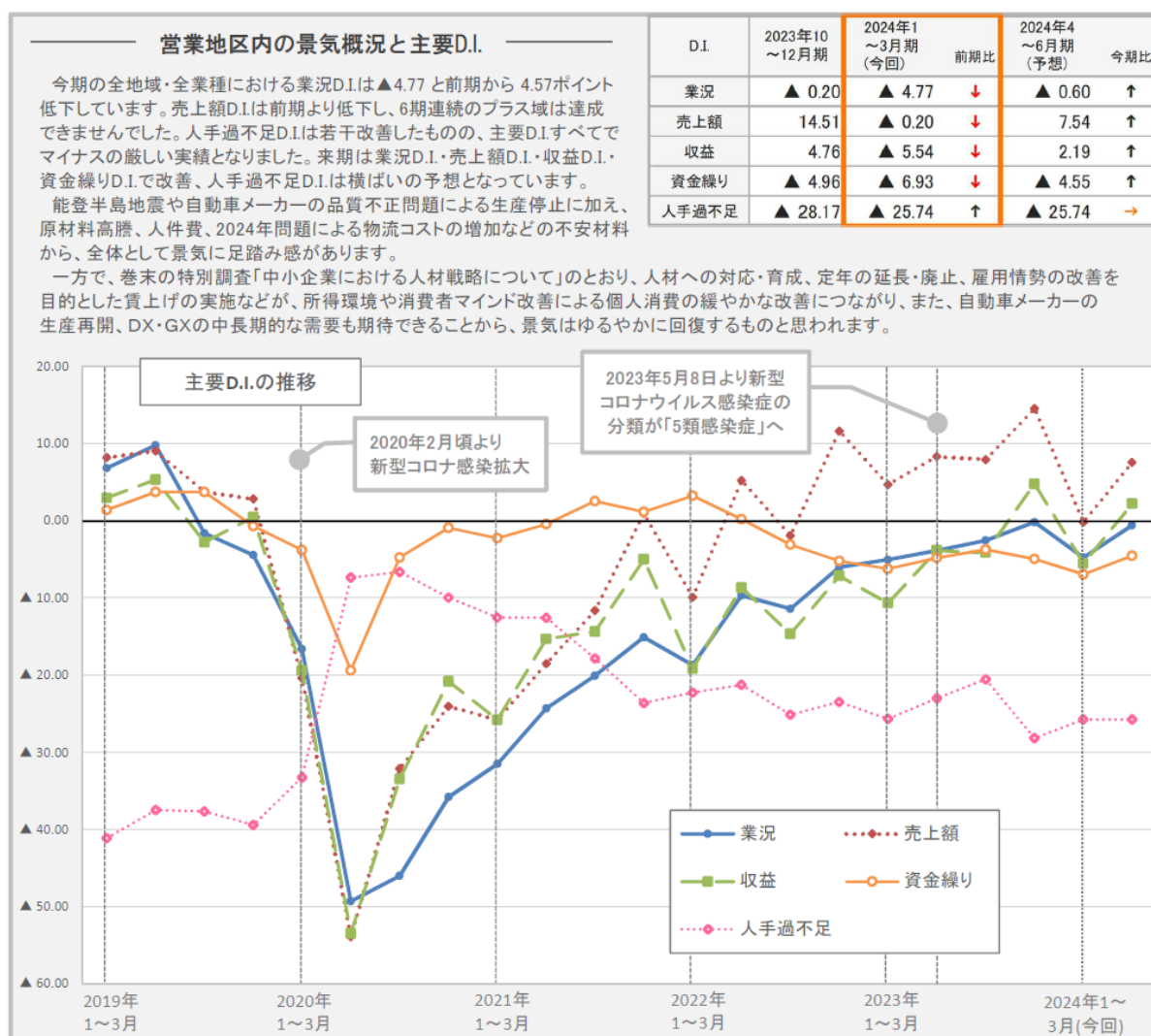
| | エリア | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 建設業 | 不動産業 |
|----------------------|--------|-------|-----|-----|-------|-----|------|
| 景気動向調査 (但陽信用金庫) | 取引先全地域 | 514 件 | | | | | |
| 中小企業景況調査 (福崎町商工会) | - | 1 件 | 0 件 | 2 件 | 3 件 | 1 件 | 0 件 |

○業種の分類について

本レポートでは、飲食・宿泊業は「サービス業」とあわせて集計しています。

2. 概況（全業種総合）

《但陽信用金庫》



《福崎町商工会》

| (全業種) | 2023年 10月～12月期 | 2023年 1月～3月期 | 2023年 4月～6月期予想 |
|-------|-------------------|-----------------|-------------------|
| 業況 | 14.29 | 0.00 | ▲14.29 |
| 売上額 | ▲28.57 | 0.00 | ▲28.57 |
| 収益 | 0.00 | 14.29 | 0.00 |
| 売上単価 | ▲28.57 | 42.86 | ▲14.29 |
| 仕入単価 | 0.00 | ▲28.57 | ▲14.29 |
| 資金繰り | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 従業員 | 0.00 | ▲14.29 | ▲28.57 |
| 外部人材 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

[2024年1～3月期]：横ばい状態で推移

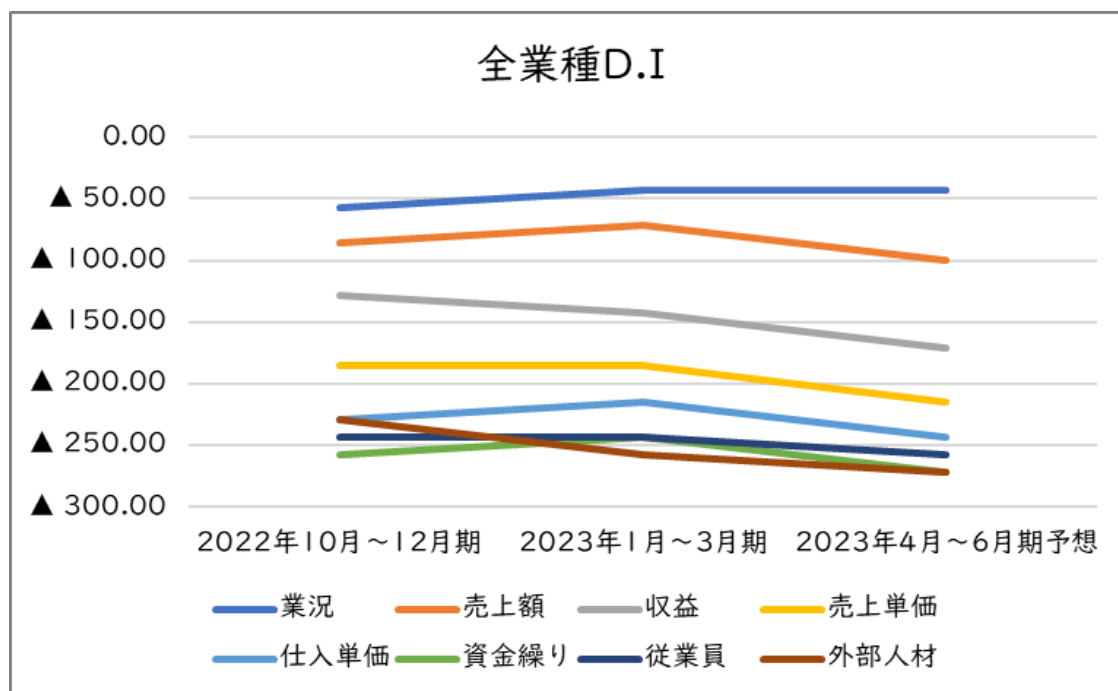
当期の業況D.Iは0ポイントとなり、前期から横ばいとなった。

売上単価に関するD.Iは上昇しましたが、仕入単価・従業員に関するD.Iは低下しました。

[2024年4～6月期]：マイナスの厳しい予想状況

来期の予想業況D.Iは▲14.29ポイントで悪化予想です。

売上額・売上単価・仕入単価・従業員に関するD.Iが低下、その他においては停滞予想です。



3. 業種ごとの集計《但陽信用金庫》

(1) 製造業

■ 製造業

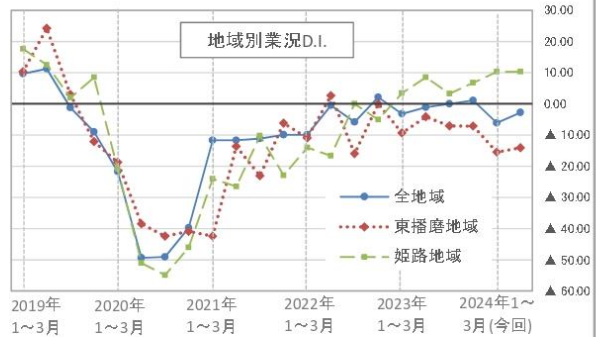
回答企業 184 社 回答率 98.9%



地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は▲6.08 と前期から 7.18 ポイント低下、東播磨地域は▲15.49 と 8.35 ポイント低下、姫路地域は 10.34 と 3.56 ポイント上昇しています。来期は全地域・東播磨地域で改善、姫路地域は横ばいの予想となっています。

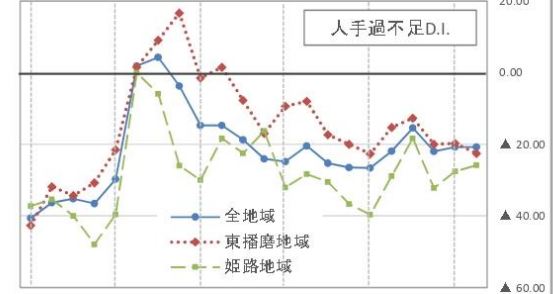
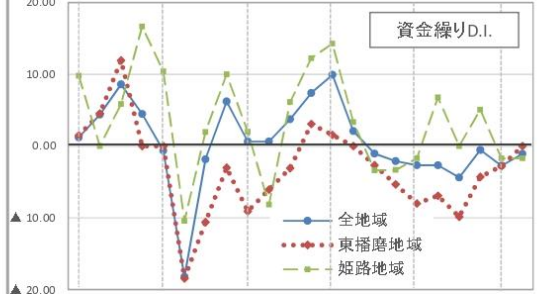
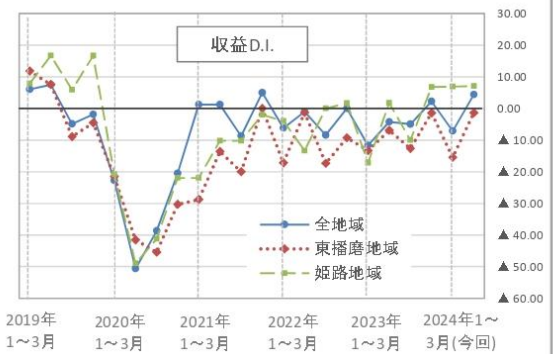
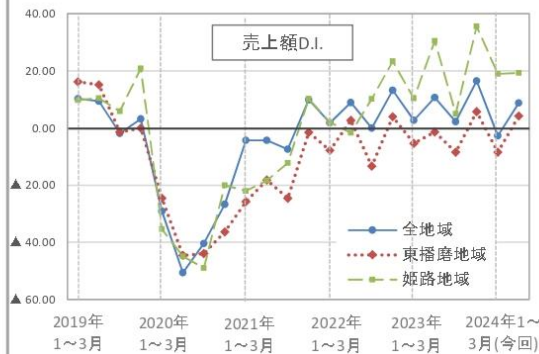
| 地域 | (回答数) | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------|-------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 全地域 | 184 | 1.10 | ▲6.08 | ↓ | ▲2.78 | ↑ |
| 東播磨地域 | 71 | ▲7.14 | ▲15.49 | ↓ | ▲14.08 | ↑ |
| 姫路地域 | 59 | 6.78 | 10.34 | ↑ | 10.34 | → |



その他主要D.I.

今期は、売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.が悪化、人手過不足D.I.は前期から改善しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.が改善、人手過不足D.I.は横ばいの予想となっています。

| D.I. | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 売上額 | 16.48 | ▲2.73 | ↓ | 8.79 | ↑ |
| 収益 | 2.20 | ▲7.10 | ↓ | 4.40 | ↑ |
| 資金繰り | ▲0.55 | ▲2.73 | ↓ | ▲1.09 | ↑ |
| 人手過不足 | ▲21.98 | ▲20.77 | ↑ | ▲20.77 | → |



当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

| | |
|----------|------|
| 販路を広げる | 113社 |
| 経費を削減する | 73社 |
| 人材を確保する | 47社 |
| 情報力を強化する | 46社 |
| 機械化を促進する | 34社 |

経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

| | |
|-----------|-----|
| 売上の停滞・減少 | 71社 |
| 原材料高 | 62社 |
| 人手不足 | 48社 |
| 同業者間の競争激化 | 43社 |
| 利幅の縮小 | 34社 |

設備投資の実施と予定 ・ 修繕工事(自動車関連製造)

(2) サービス業

■ サービス業 回答企業 77社 回答率 98.7%



地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は▲2.60と、前期から1.30ポイント低下、東播磨地域は▲14.81と18.51ポイント低下しマイナス域に、姫路地域は10.71ポイント上昇しています。来期は全地域・東播磨地域が改善、姫路地域は悪化する予想となっています。

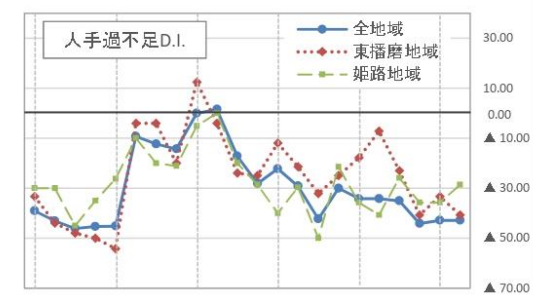
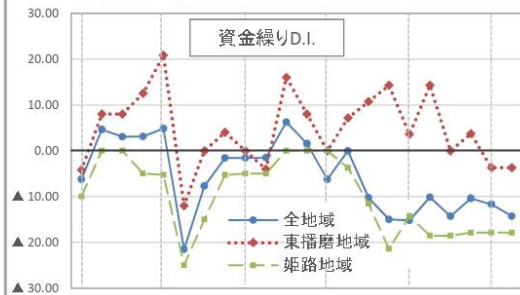
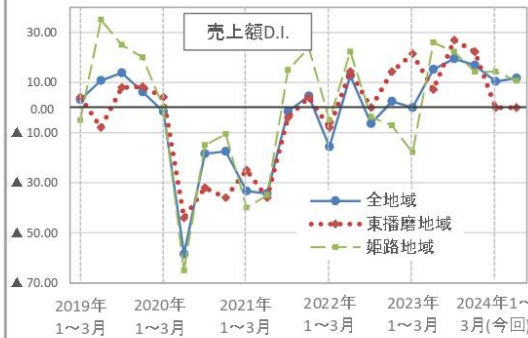
| 地域 (回答数) | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 全地域 77 | ▲1.30 | ▲2.60 | ↓ | ▲1.30 | ↑ |
| 東播磨地域 27 | 3.70 | ▲14.81 | ↓ | ▲7.41 | ↑ |
| 姫路地域 28 | ▲10.71 | 0.00 | ↑ | ▲10.71 | ↓ |



その他主要D.I.

今期は、売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.が前期より悪化、人手過不足D.I.は改善しています。来期は売上額D.I.が改善、収益D.I.・資金繰りD.I.が悪化、人手過不足D.I.は横ばいの予想となっています。

| D.I. | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 売上額 | 16.88 | 10.39 | ↓ | 11.69 | ↑ |
| 収益 | 11.69 | 1.30 | ↓ | ▲1.30 | ↓ |
| 資金繰り | ▲10.39 | ▲11.69 | ↓ | ▲14.29 | ↓ |
| 人手過不足 | ▲44.16 | ▲42.86 | ↑ | ▲42.86 | → |



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

| | |
|-----------|-----|
| 人手不足 | 34社 |
| 売上の停滞・減少 | 29社 |
| 人件費の増加 | 23社 |
| 材料価格の上昇 | 22社 |
| 同業者間の競争激化 | 13社 |

【その他の問題点】・2024年問題(一般貨物自動車運送業)

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

| | |
|------------|-----|
| 販路を広げる | 33社 |
| 経費を節減する | 32社 |
| 人材を確保する | 30社 |
| 宣伝・広告を強化する | 12社 |
| 技術力を強化する | 11社 |

(3) 不動産業

■ 不動産業 回答企業 30社 回答率 100.0%



地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は ▲3.33 と前期から 3.57 ポイント上昇、東播磨地域は 5.00ポイントの上昇、姫路地域は▲14.29と横ばいの実績となりました。来期は全地域・姫路地域で改善、東播磨地域は横ばいの予想となっています。

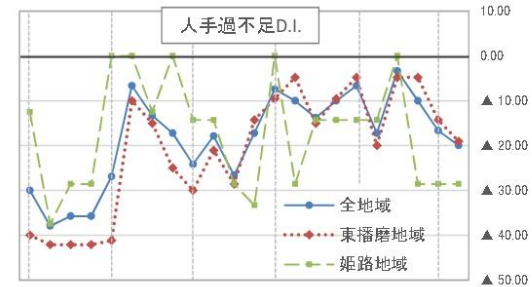
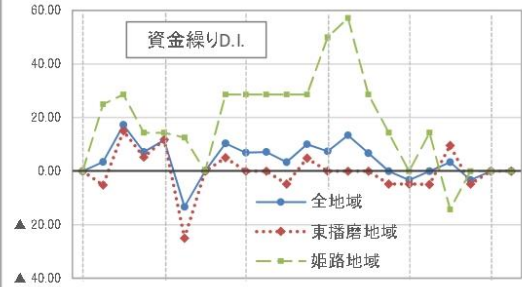
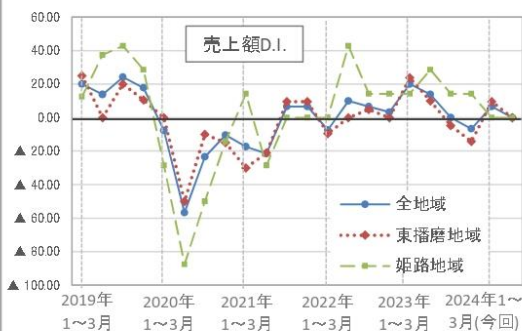
| 地域 | (回答数) | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------|-------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 全地域 | 30 | ▲ 6.90 | ▲ 3.33 | ↑ | 0.00 | ↑ |
| 東播磨地域 | 21 | ▲ 5.00 | 0.00 | ↑ | 0.00 | → |
| 姫路地域 | 7 | ▲ 14.29 | ▲ 14.29 | → | 0.00 | ↑ |



その他主要D.I.

今期は、売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.で改善、人手過不足D.I.が悪化しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.が悪化、資金繰りD.I.は横ばいの予想となっています。

| D.I. | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 売上額 | ▲ 6.67 | 6.67 | ↑ | 0.00 | ↓ |
| 収益 | ▲ 10.00 | 6.67 | ↑ | 0.00 | ↓ |
| 資金繰り | ▲ 3.33 | 0.00 | ↑ | 0.00 | → |
| 人手過不足 | ▲ 10.00 | ▲ 16.67 | ↓ | ▲ 20.00 | ↓ |



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

| | |
|-----------|-----|
| 同業者間の競争激化 | 13社 |
| 商品物件の不足 | 11社 |
| 商品物件の高騰 | 7社 |
| 売上の停滞・減少 | 5社 |
| 人手不足 | 5社 |

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

| | |
|------------|-----|
| 宣伝・広告を強化する | 15社 |
| 情報力を強化する | 14社 |
| 販路を広げる | 7社 |
| 経費を節減する | 6社 |
| 人材を確保する | 6社 |

(4) 小売業

小売業 回答企業 66社 回答率 98.5%



地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は▲15.38と、前期から3.26ポイント低下しています。東播磨地域は▲4.55と9.10ポイント低下、姫路地域は▲14.81と3.70ポイント低下となり、全地域・各地域において前期から悪化しています。来期は今期と対称的に全地域・各地域において改善する予想となっています。

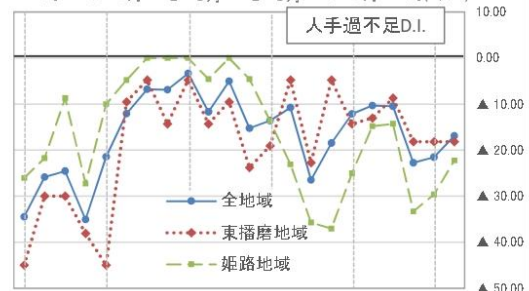
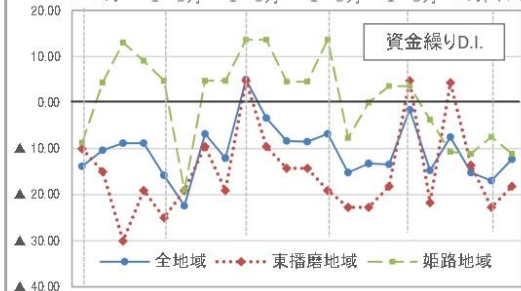
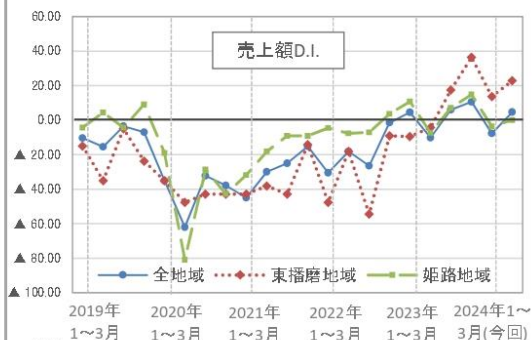
| 地域 (回答数) | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 全地域 | ▲12.12 | ▲15.38 | ↓ | ▲6.15 | ↑ |
| 東播磨地域 | 4.55 | ▲4.55 | ↓ | 4.55 | ↑ |
| 姫路地域 | ▲11.11 | ▲14.81 | ↓ | ▲7.41 | ↑ |



その他主要D.I.

今期は売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.が前期から悪化、人手過不足D.I.は改善しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.の主要D.I.すべてにおいて改善する予想となっています。

| D.I. | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 売上額 | 10.61 | ▲7.69 | ↓ | 4.62 | ↑ |
| 収益 | ▲3.03 | ▲10.77 | ↓ | 6.15 | ↑ |
| 資金繰り | ▲15.15 | ▲16.92 | ↓ | ▲12.31 | ↑ |
| 人手過不足 | ▲22.73 | ▲21.54 | ↑ | ▲16.92 | ↑ |



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

| | |
|-------------|-----|
| 売上の停滞・減少 | 31社 |
| 利幅の縮小 | 21社 |
| 人手不足 | 18社 |
| 同業者間の競争激化 | 15社 |
| 仕入先からの値上げ要請 | 14社 |

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

| | |
|------------|-----|
| 経費を節減する | 37社 |
| 宣伝・広告を強化する | 20社 |
| 人材を確保する | 19社 |
| 品揃えの改善 | 14社 |
| 売れ筋商品を取扱う | 13社 |

設備投資の実施と予定 ・貸貸室設備(処分差調剤) ・厨房機器更新(弁当販売)

(5) 卸売業

卸売業 回答企業 48 社 回答率 98.0%



地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は▲14.58 と、前期から 12.50 ポイント低下しています。東播磨地域は▲20.00 と 10.00 ポイント低下、姫路地域は▲8.70 と 17.40 ポイント低下となり、全地域・各地域において低下の厳しい実績となりました。来期は全地域・各地域において改善する予想となっています。

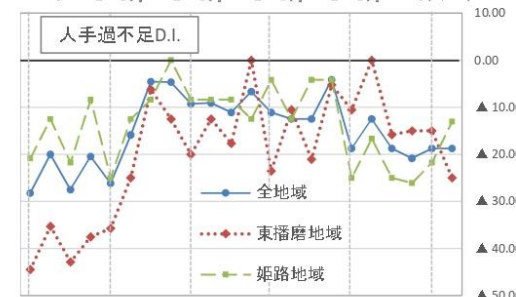
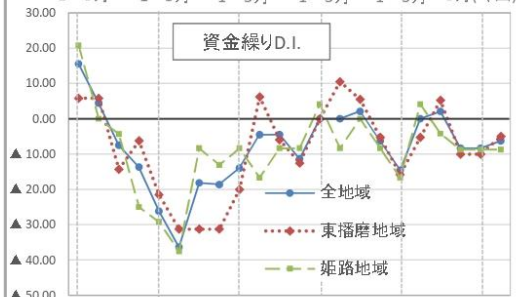
| 地域 (回答数) | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 全地域 48 | ▲ 2.08 | ▲ 14.58 | ↓ | ▲ 8.33 | ↑ |
| 東播磨地域 20 | ▲ 10.00 | ▲ 20.00 | ↓ | ▲ 10.00 | ↑ |
| 姫路地域 23 | 8.70 | ▲ 8.70 | ↓ | ▲ 4.35 | ↑ |



その他主要D.I.

今期は売上額D.I.・収益D.I.が悪化、資金繰りD.I.は横ばい、人手過不足D.I.が改善しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.が改善、人手過不足D.I.は横ばいの予想となっています。

| D.I. | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 売上額 | 16.67 | ▲ 16.67 | ↓ | 8.33 | ↑ |
| 収益 | 10.42 | ▲ 18.75 | ↓ | 0.00 | ↑ |
| 資金繰り | ▲ 8.33 | ▲ 8.33 | → | ▲ 6.25 | ↑ |
| 人手過不足 | ▲ 20.83 | ▲ 18.75 | ↑ | ▲ 18.75 | → |



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

| | |
|-------------|-----|
| 同業者間の競争激化 | 22社 |
| 売上の停滞・減少 | 20社 |
| 人手不足 | 11社 |
| 仕入先からの値上げ要請 | 10社 |
| 利幅の縮小 | 9社 |

【その他の問題点】・与信管理(建材卸)

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

| | |
|----------|-----|
| 販路を広げる | 34社 |
| 経費を節減する | 16社 |
| 情報力を強化する | 16社 |
| 人材を確保する | 13社 |
| 品揃えを充実する | 7社 |

(6) 建設業

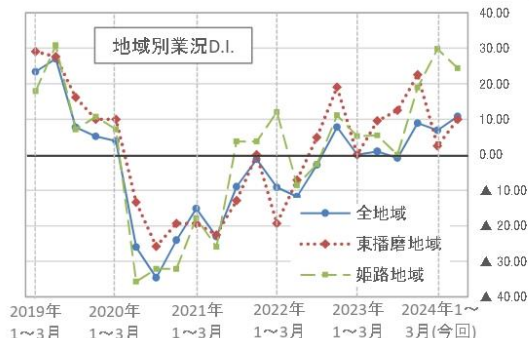
■ 建設業 回答企業 103 社 回答率 99.0%



地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は前期から6.86と2.05ポイント低下、東播磨地域は2.50と20.00ポイント低下、姫路地域は29.73と10.81ポイント上昇しています。来期は今期実績とは対称的に、全地域・東播磨地域で改善、姫路地域は悪化する予想となっています。

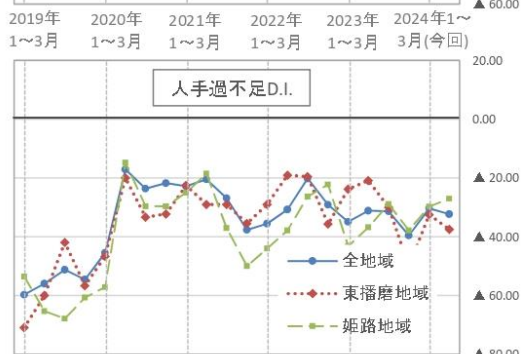
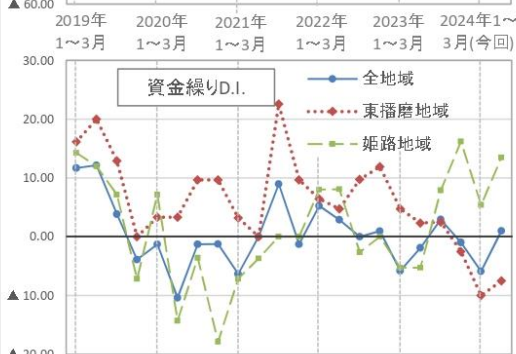
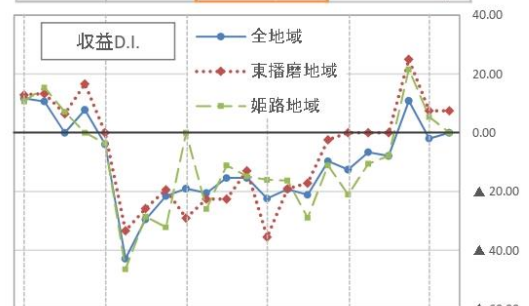
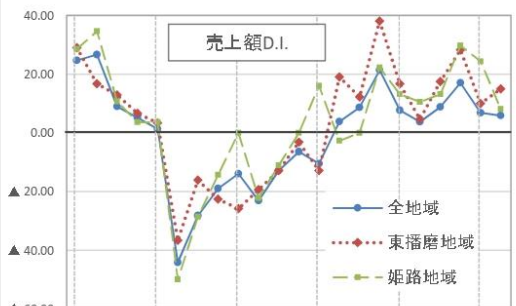
| 地域 | (回答数) | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------|-------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 全地域 | 103 | 8.91 | 6.86 | ↓ | 10.78 | ↑ |
| 東播磨地域 | 41 | 22.50 | 2.50 | ↓ | 10.00 | ↑ |
| 姫路地域 | 37 | 18.92 | 29.73 | ↑ | 24.32 | ↓ |



その他主要D.I.

今期は売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.が悪化、人手過不足D.I.は改善しています。来期は売上額D.I.・人手過不足D.I.が悪化、収益D.I.・資金繰りD.I.は改善する予想となっています。

| D.I. | 2023年10 ~12月期 | 2024年1 ~3月期 (今回) | 前期比 | 2024年4 ~6月期 (予想) | 今期比 |
|-------|------------------|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 売上額 | 17.00 | 6.86 | ↓ | 5.88 | ↓ |
| 収益 | 10.89 | ▲1.96 | ↓ | 0.00 | ↑ |
| 資金繰り | ▲0.99 | ▲5.88 | ↓ | 0.96 | ↑ |
| 人手過不足 | ▲39.60 | ▲30.39 | ↑ | ▲32.35 | ↓ |



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

| | |
|-----------|-----|
| 材料価格の上昇 | 50社 |
| 人手不足 | 48社 |
| 売上の停滞・減少 | 27社 |
| 同業者間の競争激化 | 25社 |
| 利幅の縮小 | 20社 |

【その他の問題点】・人口減少(住宅リフォーム) ・新築数減少(住宅用給排水設備業)

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

| | |
|----------|-----|
| 人材を確保する | 52社 |
| 販路を広げる | 47社 |
| 経費を節減する | 37社 |
| 情報力を強化する | 28社 |
| 技術力を高める | 19社 |

設備投資の実施と予定 ・土地(新築・リフォーム)